2019 年度 第 3 回 理事会議事録

日　時：2020 年 2 月 13 日（木）10:30～17：00
場　所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2 号館 401

Ⅰ．　開会　司会進行：大代専務

Ⅱ．　会長挨拶：今日は苗字制定記念日とビルのエレベーターに表示されていた。日本の苗字291,129種（日本語大辞典より。中国苗字3,000種、韓国苗字274種）これだけの違いはどこからくるのか。死生観も、死は1種・生は150種以上の読み方ある。それは日本人の美しい伝統や先祖観に通じるのではないかと感じた。今年度最後の理事会よろしくお願いします。

Ⅲ．　議事

1. 議長選出：山口康二副会長　　議事録作成人：事務局 長島きよ子
2. 定足数の確認：理事出席　57 名（81 名中）有効委任状　73 名　監事出席　3 名（3 名中）顧問　1 名
オブザーバー　1 名 事務局 3 名　　合計　62 名
3. 議事録署名人の指名：正副会長より中村卓史氏、及び監事より伯井守氏を指名
4. 資料及び議題の確認：前回議事録（メール配信済み）第 2 回理事会、第 1 回常任理事会、第 6 回正副会長会議
新議題の採択：なし
5. チェックイン：竹ノ内氏より進行の説明。各グループ内自己紹介ひとり 1 分間（仕事・事業で最近良かったこと）

【1. 審議事項】

（1）入退会について　入会者６名・退会者４名　　大代　資料 入 P1 退 P5

大代氏より資料を元に説明あり

入会：6 名

→全会一致可決

退会：4 名

意見なし→自動承認

（2）第 11 回定時総会 2020 事業計画について　6/19（金）ホテル雅叙園東京

大代/天野（上野）　資料 P8＋パンフレット（案）

大代　資料から概要説明

天野（実行委員長）当日、エクスカーションのスケジュール、予算の説明。

上野　「山中静雄氏の尊厳死」について説明。上映後、プロデューサーと監督を交えたパネルディスカッションあり。雅叙園の建築、調度品は必見。

射場　監督、プロデューサー謝金は出ないのか。

上野　映画レンタル代金に含まれる。

加藤（2019 年度定時総会実行委員長）準備は苦労すると思うが頑張ってください。

山口　パネルディスカッションはどのようにするのか。

上野　あらかじめ質問を用意し、時間を有効に使えるようにする。

→全会一致可決

議長　南関東地区からも期待されているが、次の総会地に立候補する地区はありますか。

河田　岡山県支部で立候補します。先日の支部会で相談しました。

→全会で歓迎

(3)【CS 委 2020】お墓物語×お墓参り photo コンテスト　小冊子制作について　　能島　資料 P11

能島　資料説明。9 月彼岸に販売開始予定。

福川　3 千部でいいのか。もっと上乗せしては。

能島　事務局のスペースを考えるとまずはこの冊数。

射場　新たに 5 作品募集のうち 4 作品にしか賞金がないのは残念。

能島　たしかに。5 作品全員に現金ではなく商品券を贈呈することを予算内で検討する。冊数に応じ割引も考えている。

→全会一致可決

(4)【お墓 D 2020】第 17 回お墓ディレクター検定試験　事業計画　　小野　資料 P16

小野　受検者数と受検料収入が年々減っていることから 5 会場→3 会場に減らした。例年 1 月開催を 11 月に変更。試験運営の委託業者の選定、広報の考え方などを説明。今回は広報に費用をかけず理事に依頼したい。支部長が支部に持ち帰り受検に対する広報をすること、関連部会員から石材店へ PR するなどご協力をいただきたい。

中村　まだ資格を持っていない理事の方は来年度の受検を検討してほしい。

大塚　関連部会から協力はもちろんだが、受検者数を増やすためには具体的になにをしたらよいのか。協会にとっての大事業なので委員長、委員だけの負担ではなく、全体で来年度のプランを考えるべきかと思う。それは、各部署が事業を考える中で、必須のテーマにしたらよいのではないか。また、1 級よりも有段は？

小野　委員会でどのように協力してもらうか、広報ツール作成など検討する。すそ野を広げることは考えているが、1 級よりも有段は考えていない。会場数減としたが、受検者数 30 名以上、試験監督官を据えることが出来る地区支部があれば、申告制で試験会場を開設したいと思っている。

射場　今年度行った消費者調査報告書によるとお墓 D 認知度は高い。特に北海道東北で認知度が高いという結果。

能島　1 級は特別感があるが 2 級は更新せずに辞めてしまう。2 級のメリットがあると魅力的な資格になると思う。

小野　今年度 2 級対象セミナー開催したが、今後も 2 級に対するフォローも考えていく。

→全会一致可決

【2. 協議事項】

(1)【CS 委】お墓ディレクターによるお墓相談ダイヤル事業計画について　　能島　資料 P20

能島　現在は事務局で専務が受け付けているが、相談内容に応じた担当者を振り分け、相談者に折り返し連絡するスタイルを検討。①理事であるべきか　②お墓 D 資格が必要か　③自社の利益につながってしまうことに対して
以上の 3 点を踏まえ協議いただきたい。

テーブル 3（谷合）①理事あるいは理事経験者　②1 級、2 級どちらでも、D でなくてもその方に　③マニュアルやルールを作る、講習会受講、報告書提出徹底

テーブル 9（北原）①理事でなくてもよい　②せっかくの会の資格なのだから 2 級以上の資格者　③いたし方ない

テーブル 2（棚瀬）①会としての責任をもって現役の理事　②協会の事業のため D 資格者　③協会の事業のため、極力仕事につなげない。お墓相談室に準ずる（報告書提出必須）。

能島　リストが不十分で申し訳なかった。意見を参考に委員会で協議し、正副会長に上程する。

大代　特に石材業界への消費者の不信感あらわなクレームにナーバスになることもある。石材店へのクレームは会員でないことが救い。継承者がいないという相談は確かに多い。答えを急いでいる方には不満が残るのかもしれない。

寺田　最初の電話窓口になる事務局の対応が重要になると思う。それが事務局の負担にならないことと、スピーディーな対応をも求める消費者の満足が十分に対応できるなら良いこと。かえってクレームにならないとよい。

＜テーブル討議＞

Table 1	射場、森田、山口、吉川、大塚、大代

①②資格・理事
・あればより良いと思うがなくてもしっかり寄り添える人であれば
・理事で１級、理事で１・２級。理事は悪いことをしなさそう。そこからすそ野を広げていけば。
・とりあえず理事１級から始め、件数が増えたらまた考える
・相談受付するにあたってのマナー研修なども考えたほうが良い
③利益
・積極的にはダメ、仕方ない時は OK
・報告義務が必要
・反対。お墓相談と矛盾してしまう
・ルールとして前もって禁止すべき
・事務局から事後確認を相談者に入れる
・現在まではすべて相談記録をとっている

Table２	友常、鶴田、大川、棚瀬

①②資格・理事
・まず理事、1 級・2 級は可
・理事で責任分担
・記録・報告を伴うので現役の理事（音声録音）
③利益
・商売になりそうな場合は話を本部に戻す
・自社の利益につながらないように注意する

Table３	白木、谷合、望月、犬塚、伯井

①②資格・理事
・理事であるべき
・できれば１級
・やりたい人ならだれでも、D でなくてもよい
③利益
・マニュアル、ルールを作る
・報告書をしっかり提出してもらう
・講習会を行う

Table４	福川、中村、小野、柴田、能島、吉野

①理事
・ない。責任が取れる人物かどうかが重要
・責任の所在がどこにあるのか
・リストの精査と相談員の選択が重要
・事務局がだれに相談して誰に担当してもらうか
②資格
・１級資格の有無よりもその分野での知識が重要
・１級取得のメリットにもつながる
・専門職の場合は不問。小売りは１級がよい
・D サイト１級紹介ページをお知らせして相談者が直接選べるようにすべき
・D サイトのページをより親切に相談しやすく

・Q&A で電話する前に問題解決 ③利益 ・結果的に利益を得るのは仕方ない ・お客さまが喜んでいただくのがいちばん	
Table５	瀬川、三上、米本、山本
①②資格・理事 ・理事もしくは１級 ③利益 ・1 級のみ OK なら、資格をとるようになる ・本部⇒支部へ（だれがよいか）ふる ・相談ダイヤル相談員試験新設	
Table６	上野、堀、西山、齋藤
①理事 ・なくてもよい。お客さまに対してしっかり対応してくれる人ならば ・相談者とのやり取りがしっかりできるなら理事である必要はない ②資格 ・お客さまが安心するならばなるべく１級 ・石材技能士などの有資格者もピックアップできるともっと対応の幅が広がる ③利益 ・丁寧に説明をして、お客さまが相談した業者を選択するならやむを得ない ・消費者の心理として初めに相談した人が最後まで話を聴く方が安心する。そのうえで仕事をお願いするのは仕方ない ・相談者が仕事を依頼するなら相談ダイヤルが信頼された証し。施工などを受けた場合は事務局への連絡は絶対	
Table7	天野、髙橋、戸高、榎本、川口
①理事 ・統一感をとるためにも理事のほうがいいかもしれない ・公平にするためには理事以外にも開いた方が良い ・理事経験者 ②資格 ・相談に対応できる人ならば D1 取得者出ななくてもいいのではないか ・D1 を優先することもいいのでは ・相談員を確保するために D2 も ・石産協の事業であることと相談対応に統一感をもつために、D1 限定したほうがよい ③利益 ・相談者から頼まれれば仕方ない ・業界でやっているので「公平性」は必要 ・モチベーションにつなげることも可能か ・「いいか」「わるいか」でいえば「いい」 ・お墓なんでも相談室のルールにあわせてできるだけ排除した方がいい ・利益につなげないことが大事	
Table８	大石、藪本、木村、平山

①理事
＜でなくてもよい＞
・理事は交代、変化するので
・対応できるＤは限定されるのでは。特定の人になる可能性が高いのでは
＜であるべき＞
・収拾がつかないので
・本部に報告義務がある
②資格
・１級にこだわらなくてもよい
③利益
・業務に繋がっても可

Table９	加藤、北原、吉田、佐渡

①理事
・理事でよいと思うが、会員が複数いる地域は振り分けが大変。理事でなくても趣旨がわかるひと
②資格
・2 級以上
③利益
・よい。しかたない

Table10	藤井、堀口、天野、河田

①理事
・１人に固定するわけでなく、複数名の人が回答し、複数名の人が回答しお客さまが自分に合った内容を参考にすればよい
②資格
・なくてもよい。公平にエリアの人（小売店）がすればよい。部会に限った中で
・１級を持っていない県、人もいるのでそのお客さまが一番近いなど、事務局の判断で決めればよい
③利益
・基本的には石産協としての回答が良い。石産協への問合せなので

Table11	玉田、寺田、大曲、平田、田尻、前迫

①理事
・理事でよい。が、その相談を受けられる確認をして詳しい人を紹介してもらう
・理事は変わるし、小売りだけではない
・支部長にまず連絡。支部長が人選し、つなぐ
②資格
・１級に限定する必要はない
③利益
・現状の月別相談崇、現状どうしているのか、どの地域にどれくらいあるのか
・仕事の縁があればそれよい。ただし、報告の必要性

Table12	金子、岡谷、賀川、小田、小松

①理事
・理事であるほうがよい。が、経験者でもよいのでは
②資格

・１級でなくても経験者であればよいのでは ③利益 ・しかたない

(2) 2020 年度<予算><事業計画><組織図>について　(【役員】次期役員候補者名簿)　　大代/森田　別冊

大代　1 月 16 日の予算編成会議では 1500 万円の赤字予算だったため、乱暴ではあったが、再度 3 割減を目標に担当副会長を通し予算再検討してもらったところ 1200 万円まで削減した。

森田　所信にもあるように、「選択と集中」とは、選択することもあるが捨てることもあるということ。「すべきことを絞り込み、組織をシンプルにすることで小さな本部を目指す」これに則した事業経過及び予算であるかを協議いただきたい。一律が 3 割カットではなく、現実的な予算組が必要。毎年赤字予算になるということは、予算が甘い。

今日は同じ立場でグループ分けしているので、その中で予算を見直し、3 月の正副に再提出していただきたい。合わせて以下の観点から話し合ってほしい。

・地区支部　末端までどのようにしたら伝わるのか？

・部会　今後の部会事業の在り方

・委員会　深刻なメンバー不足をどうしたらよいか。

部会 G（棚瀬）集約するために、連携して他の部会に参加する。日程が重ならないように参加率を向上させ、一般消費者を事業に巻き込む。交通費補助の増額。

委員会・墓石部会 G（小野）協力し合って事業の精査効率化を図る。明確な役割分担。収益を上げていく。メンバーは各地区支部から推薦する。

北海道東北地区 G（瀬川）活動がルーティン化されているので継続していく。実際過去の地区大会の決算はあまるので堅実な予算計上で見直す。各県の特徴、温度差もあるので尊重ながら、PR していく。

気関東・信越地区 G（齋藤）事業を行うときは支部負担。

四国地区 G（賀川）末端までの参加率をあげるために、協会の宣伝・知名度をあげる事業を行っていく。

監事（伯井）受益者負担の事業は結果的に登録料で収まったとしても、本部予算を見込んだ予算組みをするため、ズレが生じる。利益が出た場合は本部に戻しているが結果、予算書が読みにくい。継続事業の場合、過去の実績を読み解き、事実に沿った予算を組めば大幅にずれることはない。協力をお願いします。

＜テーブル討議＞

Table２	友常、鶴田、大川、棚瀬、山口、吉川
・各部会事業を減らし（集約し）、特に日程が重ならないようにすべき→参加率の向上 ・一般消費者が参加する事業に	
Table４	福川、中村、小野、柴田、能島、吉野（墓石部会、CS 委員会、お墓 D 委員会の関連性）
・協力していくべき（事業の精査・効率を高める）各委員会・部会の明確な役割分担 ・予算は削らないようにして収益性を訴える ・メンバーは各支部や地区から推薦して増やす	
Table５	瀬川、三上、米本、山本
・実績に則した予算に見直す ・末端会員にはそれぞれ特徴、温度差がありなかなか難しいが・・・ 北海道：幸フクロウ 宮城：講演活動 青森：一般消費者を招待した講演会 山形：LINE 活用	

福島：総会、役員会のみ 秋田：親睦程度、ゴルフなど 岩手：あまり活動していないが年一回は会食	
Table６	上野、齋藤、
・事業費は各支部負担とする ・支部活動に出てこないのは興味がないからで、そこを改善すべき ・全ての活動は会員全員で動かす意識が必要 ・部会などの事業への集約集中 ・業者間の会話、仲間ができる。事業に参加すると出会い発見もあるから。縮小は良くない ・事業も活動も出会いの場。コミュニケーションの場として利用し、自社自分のプラスにできるということを呼びかけ参加者を増やす ・マイナス予算は基本的によくない。事業に優先順位をつけていらないものは削り、ゼロベースから必要な事業を進める ・支部長の孤立を防ぐ ・会員拡大を進める	
Table６・7	天野、戸高、榎本、川口
・南関東地区で何かやりたい ・支部ごとに地区運営費を予算建てしてもらう ・支部ごとに行っていた事業を地区の事業にしてはどうか ・支部会費をとるかどうか	
Table８	大石、藪本、木村
・地区会議の在り方。近畿地区は 2 年に 1 回の持ち回りになっているが、定期制をなくして、よい成果が見込める議案が生まれてきたら実施してはどうか	
Table９	吉田、佐渡、北原
・東海地区全体会議は初の試みで不安。事業計画はすべて必要な気がする	
Table10	藤井、堀口、天野、河田
・地区全体会議に対する本部予算 20 万円は不要	
Table11	玉田、寺田、大曲、前迫、田尻、平田
・最初は 0 予算にする ・地区長が出席、支部長連絡会議で報告 ・末端に何をどこまで伝えるのか？	
Table12	金子、岡谷、賀川、小田、小松
・地区でも支部によって事情が番うので支部独自恩事業や活動を増やして活性化していく ・支部での出席率が悪い ・収益事業も協会で考えていくべきではないか	

森田　担当副会長がとりまとめ、3/12 正副に上程お願いします。組織について、副会長人数を 2 人減でスリム化。変更の可能性もあるので組織図は暫定的です。

加藤　東海・北陸地区が統合されているが、説明がほしい。範囲が広すぎるので、できれば再検討してほしい。

森田　正副会長会議、常任理事会でも話し合った結果。現実的に北陸地区の活動がなく、３支部でむずかしいなら統合した方が良い。担当副会長とよく話し合う機会を設けてください。

2019 年度 第 3 回 理事会議事録

望月　役職を 20 年間継続すると勲章受勲対象者になる。井口健二氏を常任理事以上に推薦したい。

大代　褒章はすでに申請している。結果は３月上旬。そのため次年度の組織図はご心配いただかなくても大丈夫です。

射場　地区担当副会長の推薦は地区長会議。せっかく集まっているこの時間を有効活用してください。

大代　支部長候補者推薦書は 1/8 締切りだった。未提出は至急提出を。

【3. 討議・報告・周知・依頼事項】資料参照

(1)【助成金】北海道支部「幸フクロウ事業」事業決算報告　　三上　資料 P29

(2)【助成金】なら燈花会「石あかりの小径」事業決算報告　　木村　資料 P34

(3)【地区】関東・信越地区の合同地区全体会議 in 茨城　11/1　　天野　資料 P36

(4)【地区】中国四国地区全体会議 in 広島　11/21　　藤井　資料 P38

(5)【地区】九州・沖縄地区全体会議 in 鹿児島　11/27　　玉田　資料 P40

(6)【支部】高知県支部事業報告　11/17　小松　資料 P42（写真投影あり）

(7)【採石】国産銘石アドバイザー④みちのく編 9/11～12　事業決算報告　　鶴田　資料 P45（写真投影あり）

(8)【採石】国産銘石アドバイザー⑤瀬戸内編 3/4～5　事業計画　　鶴田（PR 小田・白木）　資料 P49+パンフレット

(9)【加工】第 12 回石材加工講習会＠新潟 10/25　事業決算報告　　大川　資料 P51（写真投影あり）

(10)【加工】第 13 回石材加工講習会＠茨城 3/26　事業計画　　大川　資料 P53+パンフレット

(11)【関連】ストーンアシスト 2020 in IWATE　について　　大塚（PR 瀬川）　パンフレット

(12)【広報】石工男子をモデルとした写真素材作成　事業計画　　吉野　資料 P61

撮影された写真は協会ロゴマークと同様、使用承諾書を提出いただき、配布する予定。

(13)【広報】2020 年度母の日参り事業について　　吉野　資料 P58

３月の石産協通信に１社２枚を配布。昨年度と異なるデザイン。

(14)【女性 NW】跡取り娘支援 PJ　事業決算報告　11/29　　中村　資料 P58

(15)【災害対策】長野県　妙笑寺災害支援活動　事業決算報告　　射場　資料 P63・TV ニュース再生

(16)【災害対策】台風 15・19 号災害見舞金について　　射場　資料 P68

(17) 庵治ＳＦ2020 後援・賞発行依頼について（￥10,000）　　大代　資料 P70

(18) お墓 100 年プロジェクト　2020 フォトコン協賛依頼（￥30,000）　　大代　資料 P71

(19) 公正競争規約推進委員会（消費者協会からの依頼文）（ガイドライン案について）　白木資料 P72

射場　公正競争規約を作成することは断念したが、消費者協会からの依頼文にもあるように、協会として積極的にガイドライン作成に取り組んでいる。ガイドライン（案）はごく当たり前のことだが、推奨項目を追加すべきという意見もある。

白木　本日の協議内容を参考に委員会にてガイドラインを修正し、今年度末までにまとめたものを提案し、次年度の会長、担当者に引継ぎたい。推奨項目としてどこまでガイドラインに盛り込むべきか、義務とするのか努力目標とするのか、意見をいただきたい。

テーブル９（吉田）工程表は必要と話していたが、ガイドライン案に掲載されているので追加で掲載することはない。

テーブル８（大石）全会員を対象に登録を求めるのか？　登録しない業者は対象から外れ、コンプライアンスに反することになる可能性があり、石産協として全体統制が取れないことにならないか

テーブル４（紫田）まずは統一して守れる法令順守でとどめる。それすら守れていないのが石材業界。

白木　会員・非会員問わず、希望者（誓約した事業者）に差別化が図れるように協会 HP に掲載するなどし、自主的に守る。難しい問題だが、罰則内容をどのようにするかは委員会で結論を出したい。次年度以降は墓石部会が担当すると思うが、小売店としてそれを活用するかしないかを判断していただきたい。

＜テーブル討議＞

Table１	射場、森田、山口、吉川、戸部
・消費者協会から求められている社会貢献の一環 ・名簿に名前が記載されることがメリット ・メリットと罰則をはっきりさせた方が良い ・ガイドライン（案）この内容くらいでちょうどいい ・消費者にアピールできるツールまで成長できればよい ・全葬連はガイドライン。店舗にポスターを貼っている ・ガイドラインを遵守し信用性を高めることで参加することのメリットと登録抹消されることでのデメリットに ・消費者目線の意見も聞いてみたい ・前回成立できなかったものを今回あえて追加記載すべきなのか	
Table２	友常、鶴田、大川、棚瀬
・企画寸法　竿石限定はなぜか？ ・ガイドラインだから基準を下げた方がよい ・建築業界では安全基準報告書、施工計画要領書（現場ごと）	
Table３	
Table４	福川、中村、小野、柴田、能島、長江（吉野）
・墓石材の統一名の独自表記は良いのか？ ・小売りの足かせになってはダメ ・まずは守りやすいルールから決めていくべき ・法令順守から始めるべき ・石産協墓石部会で作成した契約書を推進 ・ガイドラインよりも「取説」「契約書のひな型」の活用 ・グレーゾーンをなくす。そこからスタート	
Table５	瀬川、三上、米本、山本
・推進項目は必要ない。参加者が減る	
Table６・７	上野、天野、齋藤、戸高、榎本、川口
・出来ることで決めないと作る意味がない ・やれることからやっていかないと間に合わない ・消費者が選別してもらえる基準を作る必要があるのではないか ・発信してアピールしていくことが大切 ・会員が誰でも守れるガイドラインを作ることが必要。まずは最低限のスタートラインに ・厳しい条件も入れていかないとガイドラインを作る意味がない ・全部の基準をクリアできるのは会員の二分の一くらいではないか	
Table８	大石、藪本
・全会員を対象に登録を求めることにするのか？ ・登録しない業者はもちろん対象から外れ、コンプライアンスに反することになる可能性があり、石産協として全体統制が取れないことにならないか ・推奨項目はすべて明記すべき ・特に国産石材については産地証明のような証明書もあるべき	

・各家との契約書はじめ見積書、設計図、文字図面に至るまで資料は年限に関わらず保管すべき	
Table９	吉田、佐渡
・建墓までの流れ納骨までの工程表。ガイドラインにあるので、推奨項目は不要	
Table10	藤井、堀口、天野、河田
・共通の見積書契約書、工事完了報告書、請求書を作成して使用する	
Table11	玉田、寺田、大曲
・してはならないことをまとめてみては ・傾きやヒビなどには保証書を出す。経年劣化はしっかり伝える。契約書は必須 ・お掃除方法を説明する ・鉄筋の太さなど工事内容には触れない	
Table12	金子、岡谷、賀川、小田、小松
・ガイドラインにより消費者にとってメリットがあればよいのでは ・多少のグレーゾーンはどの業界でもあるのでは	

能島　国産石の「〇〇石のような感じ」「〇〇石のような雰囲気のもの」と言って外国産を販売トークとしている業者がいることは分かっている。実際そういった石材店がある。

(20)【中長期】ロードマップ作成について　竹ノ内　当日配布資料

アンケート依頼

(21) 年会費未納について　大代　P80

(22) 2019 年度決算報告について　大代(メール配信済)

大代　今年度事業報告未提出の方は速やかに次回正副会長会議に提出してください。

その他【輸入】新コロナウイルス肺炎について　吉川　追加資料

吉川　福建省はこれ以上の拡大はないとのこと。この時点で再開できている工場は 1 軒もない。工員が移動できず、戻って 2 週間は就業を禁止され、指定の施設に隔離される。工場は設備が安全であるという許可申請をしないと生産再開できない。来週から生産再開の見込み。ウイルスは 48 時間で死滅するため、入荷した荷物には問題がない。

大川　国内加工でカバーできれば協力したい。東日本は坂口、中部は戸松、西日本は大川が窓口になる。

6.チェックアウト：今日一日参加しての感想 (GD)

＜監事講評＞

望月　全国各地から集まっていただき、献身的で素晴らしい。予算の使い方、事業も全会員のため、社会に貢献できるものなのかをもう一度考える必要も。

伯井　考える事ばかりだった。未来に向かってひとつひとつ解決していこうという素晴らしい会でした

犬塚　予算協議したが、「選択と集中」をキーワードにした事業計画をもう少し時間をかけて考えてほしい。

閉会

2020 年 2 月 13 日

議事録署名人　：　中村　卓史　㊞

議事録署名人　：　伯井　守　㊞

議　　長　：　山口　康二

議事録作成人　：　長島きよ子